

# プチほっと

2025年 1月号  
vol.368

個別に指定がない場合のお申し込みは 土・日を除く9時～17時まで

総合企画室 〒376-8523 桐生市相生町1-111  
TEL. 0277-52-9628 FAX. 0277-54-1270  
0120-52-9638 (無料) mail:gunma\_kumikatsu@coopdeli.coop  
このアドレスからのメールを受信できるように設定してください。

組合員さんのご意見・ご要望は 土・日を除く9時～17時まで

組合員の声事務局 ご意見・ご要望等は、「こえのポスト」でも受け付けています。  
TEL. 0277-52-9618 電話の際は、「組合員の声」とお申し付け下さい。  
0120-93-4011 (無料) 0277-54-1270までお願いします。また、FAXの場合は「組合員の声行」と書いて

「プチほっと」で募集している企画で預かりした個人情報、抽選結果のお知らせ、行事保険加入と組合員活動のお知らせのみに使用させていただきます。

## 随時募集!! 奨学金応援サポーターを募集します!

「奨学金応援サポーター」は毎月100円単位の募金で、コープぐんまのひとり親家庭(両親がいない方も含む)の高校生への奨学金給付事業を応援する組合員さんです。2024年12月までに、1,492名が応援サポーターに登録され、34名の奨学生を支援しています。奨学生には返済不要の奨学金(月1万円)を3年間給付します。

コープぐんまの  
**奨学金制度とは?**  
コープぐんま奨学生(高校生)に、返済不要の奨学金(月1万円)を給付します。2025年度も奨学金の新規募集を行います。奨学金は、コープぐんま組合員の募金で支えられます。みなさまのご協力をお願いします。



コープぐんま  
奨学金制度



お問い合わせ  
コープぐんま奨学金事務局(総合企画室)  
0120-52-9638  
(月～金/9:00～17:00)

募金は一〇〇円単位です。申込後は毎月自動で引き落としになります。

### 宅配での募金の申し込み方法

宅配の注文用紙の6桁注文欄に注文番号「289110」と数量欄にご希望の「口数」をご記入ください。募金は商品代金と一緒に引き落とされます。

(毎月の募金)	注文番号	数量記入欄
申込	289110	1～99の希望口数を記入してください。
中止	289116	1を記入してください。

(記入例)  
毎月200円を  
申し込み場合



- 募金額を変更する場合は、注文番号「289110」と数量欄に変更後の口数を記入してください(口数を2口から5口に変更する場合は「5」を記入してください)。
- 通年でいつでもお申し込みできます。
- 中止する場合は、注文番号「289116」と数量欄に「1」を記入すると翌月から中止されます。
- インターネット注文(eフレンズ)でもお申し込みいただけます。

### 店舗での募金の申し込み方法

店舗備え付けの「奨学金募金 登録/変更/中止 申込書」で募金の手続きを行います。募金は毎月、登録した口座より引き落としされます。

- すでにお申し込みの場合も、「申込書」で手続きすると、募金額を変更できます。
- 通年でいつでもお申し込みできます。
- 中止する場合は「申込書」で中止の手続きを行います。翌月から中止されます。

- 申し込みには、本人確認ができるものの提示が必要です。写真付きは1種類(運転免許証・パスポートなど)、写真なしは2種類(健康保険証・年金手帳・診察券・通帳・キャッシュカード・クレジットカードなど)。
- 奨学金応援サポーター募金は口座登録が必要です。口座登録がまだの方は、募金申し込みと一緒に口座登録をお願いします。

10日までに申し込みの方は翌月5日より、11日から月末までに申し込みの方は翌々月5日より、生協登録口座から引き落としが始まります。

※お預かりした募金は全て奨学金として使われます(チラシ等の広報経費、事務経費はコープぐんま負担です)。

### 奨学生の声

- 今学期は特に集中して勉強に取り組むことができ、苦手だった英語にも積極的に向かい合いベストを尽くしました。またラグビー部の活動では、怪我をしながらも最後まで戦い抜き先輩たちと全力で協力しました。また新たな気持ちで、来年に向けて頑張りたいと思います。
- 最近は部活のイベントが頻繁にあるので毎日遅くまで練習をしていて、とても忙しい日々を送っています。年末まで修学旅行や検定、定期試験もあるので体に気をつけながらがんばりたいと思っています。これからもよろしくをお願いします。

### 奨学金応援サポーターからの励ましの声

部活や勉学に励み、新しい友人関係に恵まれながら、日々楽しく過ごしている姿を想像して、こちらも嬉しくなりました。高校生活はあっという間だと思うので、悔いのないよう何でもチャレンジしてみてください。